

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ニコニコCamp			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 23日		～ 2025年 1月 15日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2024年 12月 23日		～ 2025年 1月 15日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	2024年 12月 23日		～ 2025年 1月 15日	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	10	(回答数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・発達の多角的理解 保育所等と療育施設を併用する強みとして、発達の多角的理解があるかと思います。保育所や学校期間は集団活動を通じた社会性や生活習慣の形成を支援し、療育施設では感覚統合や運動発達、認知・言語の課題に個別にアプローチします。2つの視点と同じ事業所が行うことで、子どもの特性や成長をより深く理解できます。	訪問時の保育所での様子をレポートにまとめ、保護者の方と訪問先へお渡ししています。レポートは分かりやすいように構成を考え、活動中の様子が分かる写真つきのものを作成しています。また、訪問先の様子と合わせてアセスメントや今後の療育での支援の方針を記載し、情報共有と支援の振り返りにつなげています。	レポートのお渡しや説明などのフィードバックをより素早くしていけたらと考えております。また、訪問支援に関わる職員に研修などの機会を設けて、訪問先での情報交換を充実したものにしていきたいです。
2	・個別支援と集団活動のバランス 療育施設で得た気づきを活かして、保育所での集団活動時の支援を工夫することが可能です。また、保育所での様子を療育にフィードバックすることで、個別支援計画の調整にも役立ちます。	療育での気づきを訪問先の保育所に共有することとあわせて、保育所での取り組みで教えていただいたことを参考に、療育の活動に取り入れています。	定期的な保育所等訪問の継続によって、支援内容の充実を目指します。 保育所等訪問を継続していくことで、支援の振り返りや検証と改善がより深まっていくと思われます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・人材育成の課題 保育所等訪問や療育に関して未経験の職員が多いため、職員の知識・スキルを向上させる必要があると感じます。訪問先での情報交換時に、相談を受けた内容への助言を充実させたいと考えています。	新規事業所のため、経験のある職員を採用しにくい状況にあります。基礎からの研修や勉強会が必須となります。	外部研修や講習会への参加をすすめたり、必要に応じて作業療法士や言語聴覚士、心理士など外部の専門家と連携し、療育のアドバイスや指導を受けることで、職員のスキルアップを図っていきます。
2			
3			